ベートーヴェンとその弟子、フェルディナント・リースを巡る旅路

指揮：飯森範親
Norichika Iimori

ハイドンにモーツァルト…
大作曲家たちの**足跡**を知る
飯森範親による**新**しい**旅**

ヴァイオリン：三浦文彰
Fumiaki Miura

鮮烈な**デビュー**から
更なる**進化**を遂げる
三浦文彰の**ブルッフ**

ベートーヴェン：交響曲第1番 ハ長調 作品21
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26
フェルディナント・リース：交響曲第1番 ニ長調 作品23

photographer :©山岸伸（飯森範親）、(c) Yuji Hori（三浦文彰）

2/17 2024 ［土］13時開場/14時開演　東京オペラシティ コンサートホール

パシフィックフィルハーモニア東京　第3回東京オペラシティ定期演奏会

定期会員先行発売：11月7日［火］　**一般発売**：11月14日［火］

S席：7,000円　**A**席：5,500円　**B**席：4,500円

ご予約・お問い合わせ：PPTチケットデスク **03-6206-7356**（平日10-18時）　パシフィックフィルハーモニア東京　**ppt.or.jp**

主催：一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

公益社団法人 企業メセナ協議会　助成認定活動

PACIFIC PHILHARMONIA TOKYO　NORICHIKA IIMORI MUSIC DIRECTOR

伝統に「革新」を取り入れる。

19th PPT CONCERT

Highlights of Concert

第3回東京オペラシティ定期演奏会は、18世紀後半から19世紀前半生まれのドイツの作曲家3人が揃う。1人目はルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン。ハイドン、モーツァルトの後継を自称すべく29歳の年に送り出した『交響曲第1番』(1799-1800年)を生で聴くチャンスは意外とレア。そして本演奏会の大穴であり目玉の2人目は、ベートーヴェンの愛弟子フェルディナント・リースの『交響曲第1番』(1809-10年)。師と同じくドイツ・ボンの宮廷音楽一家に生まれ、師の作品を手本とする音楽人生を歩んだ彼が放つ若書きの交響曲は、師へのオマージュなのか、それとも挑戦状なのか？世界的にも演奏機会が少ないリースの交響曲を、飯森範親がどう解釈するのか注目される。3人目のマックス・ブルッフは、リースの没年にあたる1838年生まれ。ボン近隣の大都市ケルンの出身かつボンで音楽を学んでおり、実質的にベートーヴェンとリースの“地元の後輩”――と思って聴くと、おなじみの『ヴァイオリン協奏曲第1番』(1866-1868年)の味わいが変わるかも。ヴァイオリニスト・三浦文彰をソリストに迎えた、ドイツ三つ巴の充実のプログラム。

(かげはら史帆)

指揮：飯森範親 Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクレスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚しい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。

オフィシャルHP http://iimori-norichika.com/

ヴァイオリン：三浦文彰 Fumiaki Miura

2009年世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。これまでロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリインスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、ベルリン・ドイツ響、NDRエルプ・フィル、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ケルン放送響、エーテボリ響などと共演。共演した指揮者には、ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマンなどが挙げられる。サンクトペテルブルクの白夜祭、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭などの国際音楽祭にもたびたび招かれる。リサイタルでは、ルーブルでのパリ・デビュー、ウィグモアホールでのロンドン・デビューを果たす。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティスティック・リーダーに就任。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務める。

22/23シーズンは、バルセロナ響、ウィーン室内管などと共演し、ピリスとのデュオリサイタルも行う。また、ウィーン、パリではリサイタルを行い絶賛を博す。スペインのアリカンテ響には、指揮者として登場した。

CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。22年「Forbes」Asiaにおいて「30 under 30(世界を変える30歳未満の30人)」に選出される。

使用楽器は株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1732年製グァルネリ・デル・ジェス「カストン」。

管弦楽：パシフィックフィルハーモニア東京 Pacific Philharmonia Tokyo

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、レコーディング、メディア出演、ポップス演奏会など幅広く活動。2018年からは楽団誕生の地・練馬で定期演奏会を開催し、地元に根差した活動も行っている。音楽監督：飯森範親、指揮者：園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー：藤原いくろう

チケット購入 定期会員先行発売：11/7[火] **一般発売**：11/14[火]

S席：7,000円　**A**席：5,500円　**B**席：4,500円

パシフィックフィルハーモニア東京 **ppt.or.jp**

PPTチケットデスク(平日10-18時) **03-6206-7356**

会場　東京オペラシティ コンサートホール

〒163-1403
東京都新宿区西新宿3-20-2
初台駅(京王新線)東口より徒歩5分

[注意事項]※未就学児の入場はご遠慮ください。　※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。　※公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しは行いません。

プレイガイド

・東京オペラシティチケットセンター **03-5353-9999**(10-18時)月曜定休

・チケットぴあ **https://t.pia.jp**

・イープラス **https://eplus.jp**

割引

・**シニア割引:10%OFF**(60歳以上)

・**ユニバーサル割:10%OFF**(障害者手帳をお持ちの方)

・**U25割:50%OFF**(25歳以下)

・**団体割:10%OFF**(10名様以上でのご予約者全員)

※この他の割引に関しては楽団のWEBサイトをご覧ください。

メールマガジン・SNS　最新情報・お得な情報はこちらから

LINE　Twitter　Instagram　Facebook　メルマガ登録